

授業科目 ヨーロッパ文化研究	単位 2単位
授業担当者 新免 光比呂	授業期間 前期
<p>授業の題目と概要</p> <p>「東欧の政治文化と宗教」</p> <p>ユーゴ紛争はもはや過去となり、今やセルビア、クロアチアなどの EU 加盟(先送り)が話題であるが、対立そのものが消滅したわけではなく歴史の記憶は今なお現在の政治を規定する。授業ではフィールドワークに基づいて政治文化と宗教について歴史的に考察する。</p>	
<p>授業の内容と計画</p> <p>1 政治文化とはなにか</p> <p>2 東欧における戦間期の特質</p> <p>3 東欧における社会主義体制</p> <p>4 東欧におけるナショナリズム</p> <p>5 共産主義体制崩壊後の東欧</p> <p>6 東欧における宗教の政治性</p> <p>7 事例 1 : ルーマニア</p> <p>8 事例 2 : ポーランド</p> <p>9 事例 3 : 旧ユーゴ</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>『宗教とナショナリズム』(世界思想社 1997)『未開の戦争、現代の戦争』(岩波書店 1999)</p> <p>『大戦間期の東欧』(刀水書房 1994)『ソヴィエト政治と宗教』(未来社 1988)</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>講義における態度とレポートによって判断する</p>	
<p>その他の留意事項</p>	